

教師論

2 単位 3 年 (前期)

大宮 俊恵・准教授 / 人間文化学科

【授業目的】「子どもに慕われ、親に尊敬され、同僚に愛され、校長に信じられる」教師を育成し、新たな時代にふさわしい教師として学校教育が担えるよう、確固たる教師観と実践に繋がる資質・能力を養成する。

【授業概要】現代の子どもたちは社会的・家庭的要因からくる様々な問題を抱えていること、また、そこから派生する学校現場での問題点や課題も多々あること、それでも尚かつ、教職に勝る職業はなしと考える多数の教師の声等から学校現場の実情を把握した上で、教職の意義及び教員の役割・職務内容を学生自ら主体的に学べるようにする。また、先人の崇高なる教師論を学ぶ中で、教師としての使命感と真の教育愛等について反芻しながら、社会の養成である豊かな人間性と確かな指導力のある教師とは、と学生自身が「理想とする教師像」を描けるようにする。さらに、本講座「教師論」を学んだことにより、自らの適性等を考えるなど、学生自身が将来に対する方向性・展望がもてるよう進路選択の機会を提供する教職科目のひとつとする。

【キーワード】教育現場の実情、教職の意義、教員の職務内容、教員の服務

【履修上の注意】各人の意見を述べ合う場を授業中に設けます。課題意識をもって授業に参加してください。

【到達目標】1. 学校現場の実情を理解する。2. 教職の意義、教員の職務内容等主体的に学ぶ。3. 理想とする教師像を描くことができる。

【授業計画】

1. 教育現場の実情把握
2. 学校現場の問題点/課題
3. 教職の意義・教員の使命
4. 教員の役割
5. 教員の職務内容
6. 教員の服務
7. 学校現場参観
8. 教員の身分保障
9. 教育内容 (学習指導要領)
10. 理想の教師像 (中学校長に学ぶ)
11. 理想の教師像 (高等学校長に学ぶ)
12. 理想の教師像 (教育長に学ぶ)
13. フィンランドの教育事情
14. 教職への展望 (自分の理想とする教師像)

15. まとめ

【成績評価】各授業の課題・参加態度、最終レポート、出席状況等により総合的に評価します。

【再試験】なし

【教科書】必要に応じて授業時にレジメ・資料を配付する。

【参考書】適宜、参考図書資料を紹介する。

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=219253>

【連絡先】

⇒ 大宮 (omiya@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL